

## 令和5年度丸亀市行政評価（外部評価）結果への対応

①教職員の働き方改革の推進（学校教育課）	1
②スマートモビリティの推進（都市計画課）	2
③地場・伝統産業の振興（産業観光課）	3
④糖尿病等予防対策の推進（健康課、保険課）	5
⑤瀬戸内国際芸術祭との連携（まなび文化課）	6

取組名称	担当課	総合計画体系			
		基本方針		基本施策	
①教職員の働き方改革の推進	学校教育課	I	心豊かな子どもが育つまち	1	子どもの教育の充実

### 【評価結果】

事業の方向性	維持（教職員のサポート体制の深化）
評価の根拠	<p>校務支援システムの導入による負担軽減に伴い、教職員の時間外勤務時間は減少傾向となっている一方で、GIGAスクール構想の実現に向けた授業等へのICT端末の導入により、教員の負担が増加する一面もあるなど、ICT活用指導力の格差が顕著となっている。</p> <p>ICTの導入が教育の質の向上に直結するかどうかは、ケースに応じて検討する必要があることも踏まえつつ、ICTを不得手とする教職員に対しては、意識改革を含めた個別指導や授業支援を行うICT支援員を増員するなど、丁寧なフォローアップにより教育活動の質の向上に努めていただきたい。</p> <p>また、教員が教育の本質について考える時間や取り組む時間を確保することも重要である。教職員が担っている事務負担の軽減に向けて、文部科学省が推進している共同学校事務室については、現場の声を十分に聞き、効果を見極めながら検討する必要がある。</p> <p>なお、直近3年間の時間外勤務時間の減少は、コロナ禍の影響による学校行事や部活動の制限が要因と考えられるほか、ICT環境の充実による持ち帰り業務の増加も懸念されることから、従来業務の洗い出しと見直しも継続的に進めていただきたい。</p> <p>以上のことから、本事業は「維持」とする。</p>

### 【担当課の対応】

<p>教職員の働き方改革については、令和6年度から10年度までの5年間、本市の教育を取り巻く様々な課題の解決に集中的に取り組む「人づくり石垣プロジェクト」の重点項目の一つに位置付け、教員が本来取り組むべき業務に集中できる環境を整え、子どもに向き合う時間の保障に取り組むこととした。</p> <p>具体的には、GIGAスクール構想実現に向けたICTの活用を促進するため、授業支援等を行うICT支援員の各学校への派遣時間を増やすほか、1人1台端末の回線速度の確保に向けた安定的な校内ネットワーク回線の構築などを通して教育活動の質の向上に努めていく。</p> <p>加えて、教職員の事務負担の軽減に向けては、テスト採点ソフトや県下統一の校務支援システムの導入などICTの活用を進めるとともに、島しょ部を除く市内小学校への業務支援員の配置などに取り組み、一人ひとりに寄り添った対応ができる環境を整えていきたい。</p>
---

### 【予算の状況】

予算事業名称	区分	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
教育情報化推進費	令和6年度(A)	9,203	0	400	0	8,803
	令和5年度(B)	4,800	0	0	0	4,800
	比較(A-B)	4,403	0	400	0	4,003
児童指導充実費	令和6年度(A)	30,564	0	8,130	0	22,434
	令和5年度(B)	1,726	0	540	0	1,186
	比較(A-B)	28,838	0	7,590	0	21,248

取組名称	担当課	総合計画体系			
		基本方針		基本施策	
②スマートモビリティの推進	都市計画課	II	安心して暮らせるまち	7	公共交通の充実と離島振興

#### 【評価結果】

事業の方向性	拡充（目的と手段が一致した運行と公共交通網の拡大）
評価の根拠	<p>団塊の世代が後期高齢者に差しかかり、運転免許証の自主返納の増加が見込まれる中、高齢者の交通手段を確保していかなければならないことを踏まえると、本取組の重要性は今後高まってくると予想される。</p> <p>そこで、本取組の柱となるコミュニティバスは、現在、民間事業者と連携した運行がなされているものの、ターゲットユーザーを絞り切れていない課題がある。学生や高齢者、観光客などに利用してもらえようターゲット層に応じたダイヤの設定など、きめ細やかなアプローチとともに、その結果を常にフィードバックしながら、目的と手段が一致した運行を追求していただきたい。</p> <p>一方、デマンド交通は、コミュニティバスの補完的役割を果たせるよう実証実験に取り組むとともに、市民に取組を認知されるよう広報活動に注力しなければならない。</p> <p>また、公共交通のネットワーク充実に向けては、瀬戸内中讃定住自立圏をはじめとする広域連携が重要である。公共交通網の拡大に向けて、近隣市町の首長や民間事業者などと協議を進め、中讃地域の公共交通の起点となる交通結節点の設置を目指していただきたい。</p> <p>以上のことから、本事業は「拡充」とする。</p>

#### 【担当課の対応】

<p>市民や来訪者の移動手段であるコミュニティバスの運行については、引き続き民間事業者と連携しながらニーズに応じたダイヤの設定などに取り組み、効率的な運行と利用環境の向上に努めていく。</p> <p>また、昨年10月から実施しているデマンド交通の実証実験を継続し、コミュニティバスの補完的役割を果たせるよう検証結果をバス路線の再編などにつなげるほか、市民に取組を認知していただけるよう広報活動に改めて注力したい。</p> <p>瀬戸内中讃定住自立圏における公共交通のネットワーク充実に向けては、民間バス路線の一部を再構築する予定としており、交通結節点についてもデマンド交通の検証結果やバス路線の再編を考える中で検討していきたい。</p>
--

#### 【予算の状況】

予算事業名称	区分	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
コミュニティバス・生活バス路線等運行維持費	令和6年度(A)	181,577	1,500	0	450	179,627
	令和5年度(B)	139,597	1,500	0	650	137,447
	比較(A-B)	41,980	0	0	▲200	42,180

取組名称	担当課	総合計画体系			
		基本方針		基本施策	
③地場・伝統産業の振興	産業観光課	Ⅲ	活力みなぎるまち	15	商工業の振興

#### 【評価結果】

事業の方向性	<b>改善（出口戦略の明確化と従来取組の見直し）</b>
評価の根拠	<p>本取組は、伝統的工芸品に指定されている竹製の丸亀うちわの振興を中心に取り組んでいる一方で、プラスチック製うちわを含んだ生産本数を成果指標として設定するなど、出口戦略が分かりにくくなっている。</p> <p>SDGsの進展により脱プラスチックが加速する社会情勢や、竹製うちわの担い手不足など、困難な課題に直面し行き詰まりを感じる中、発展してきた丸亀うちわを今後どう変革していくか、関係者とともに目指す方向性を明確にする必要があり、それに合わせて成果指標も見直すべきである。</p> <p>特に、竹製の丸亀うちわに関しては、担い手の高齢化や後継者不足といった人材確保が近年の継続的な課題となっているが、生計が立てられない現状が続く限り発展することは困難である。これまでの取組で改善が見られない状況を踏まえると、後継者となり得る若年層などへの情報発信の仕方のほか、これからの担い手が生計を立てられるための付加価値の創出やマーケットの開拓にはさらなる工夫が必要であり、従来と違ったアプローチも求められる。</p> <p>以上のことから、本事業は「改善」とする。</p>

#### 【担当課の対応】

<p>本取組の成果指標については、プラスチック製うちわを含むうちわの生産本数を設定していたが、香川県うちわ協同組合連合会の集計方法の変更や社会情勢等を踏まえ、竹製うちわの生産本数に成果指標を見直し、担当課として目指す方向性を示した。</p> <p>担い手の高齢化や後継者不足の解消といった継続的な課題の解決に向けては、昨年10月、世界の持続可能な観光地TOP100に選出された丸亀うちわの継承に資する取組（技術技法講座、丸亀うちわニューマスター認定事業など）を継続するとともに、TOP100選出により今後増加が見込まれるインバウンド客や教育旅行などの受入体制を強化するため、パンフレットや製作工程を記録した動画の多言語版のほか、教育冊子を新たに制作するなど、生計確保に向けた販路拡大や知名度向上に努め、人材確保につなげていきたい。</p>
---

【予算の状況】

予算事業名称	区分	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
地場産業振興事業費	令和6年度 (A)	5,080	0	0	0	5,080
	令和5年度 (B)	3,530	0	0	0	3,530
	比較 (A-B)	1,550	0	0	0	1,550
丸亀うちわ産業発展支援事業費	令和6年度 (A)	2,000	1,000	0	0	1,000
	令和5年度 (B)	2,000	1,000	0	0	1,000
	比較 (A-B)	0	0	0	0	0
観光開発事業費	令和6年度 (A)	8,000	0	0	0	8,000
	令和5年度 (B)	0	0	0	0	0
	比較 (A-B)	8,000	0	0	0	8,000

取組名称	担当課	総合計画体系			
		基本方針		基本施策	
④糖尿病等予防対策の推進	健康課 保険課	IV	健康に暮らせるま ち	17	地域保健・医療の 充実

【評価結果】

事業の方向性	維持 (分析に応じたアプローチの工夫)
評価の根拠	<p>香川県の人口 10 万人に対する糖尿病死亡率は、ワースト上位に位置しており、丸亀市の死亡率も低くない現状を踏まえると、継続的に取り組まなければならないテーマであり、担当課では、各種パンフレットや様々な機会を捉えた啓発活動が展開されているが、各成果指標は伸び悩んでいる。</p> <p>特定健診を受診していない市民の属性や受診しない理由を把握することはもちろんのこと、その分析結果に応じた的確なアプローチにより特定健診受診率の向上に効果的な手法を模索しながら、引き続き粘り強く取り組んでいただきたい。</p> <p>また、糖尿病等対策の基本となる食事と運動のうち、特に運動面については、義務感に縛られないことが大切であり、若者から高齢者までが楽しく運動習慣を身に付けられるよう、ターゲット層に応じた動機付けを与える取組や、他部局との連携により相乗効果が期待できるような取組も有効と考える。</p> <p>以上のことから、本事業は「維持」とする。</p>

【担当課の対応】

<p>特定健診受診率の向上に向けては、対象者の特性に応じたAI診断による受診勧奨に加え、特に働き世代である 35～39 歳への受診を促す動機付け健診などの取組を関係機関と連携しながら継続して粘り強く取り組み、好ましい生活習慣（運動習慣、食生活など）の定着を促し、糖尿病の発症・重症化予防につなげていきたい。</p> <p>また、糖尿病等対策の基本となる運動については、香川県が運営している健康づくりアプリ「マイチャレかがわ」と連携し、本市独自のメニューを盛り込むなど、楽しく運動習慣を身に付けられる仕組みづくりを検討したい。</p>
--

【予算の状況】

予算事業名称	区分	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
健康教育・相談事業	令和6年度 (A)	3,586	0	0	0	3,586
	令和5年度 (B)	4,220	0	0	0	4,220
	比較 (A-B)	▲634	0	0	0	▲634
データヘルス計画事業費	令和6年度 (A)	11,224	11,224	0	0	0
	令和5年度 (B)	12,411	12,411	0	0	0
	比較 (A-B)	▲1,187	▲1,187	0	0	0

取組名称	担当課	総合計画体系			
		基本方針		基本施策	
⑤瀬戸内国際芸術祭との連携	まなび文化課	V	みんなで作るまち	22	文化芸術の振興

### 【評価結果】

事業の方向性	維持（非開催年度における取組の方向性と近隣住民の機運醸成）
評価の根拠	<p>瀬戸内国際芸術祭の開催を重ねるたびに、出展者や協力者が増加し受入体制も充実している一方で、開催期間とのギャップが大きく、非開催年度における本島の来訪者を増やすことが課題となっている。</p> <p>しかしながら、非開催年度の本島は、若年層による島の活性化イベントが行われているものの、飲食業といった民間事業者による継続的な事業展開は困難であり、受入体制は不十分であると言わざるを得ない。</p> <p>そのため、本島バスツアーなどの単発イベントは実施しつつも、芸術祭への来訪が少ないとされている近隣住民の来訪につながるような取組、例えば猪熊弦一郎現代美術館をはじめとする既存のコンテンツを活用した事業や、芸術祭で好評だったイベントの継続開催といった文化芸術の関心を高める取組に注力し、芸術祭を盛り上げるための機運醸成に努めていただきたい。</p> <p>そのうえで、芸術祭開催年度においては、オーバーツーリズムに留意しつつ、近隣住民にも参画いただきながら、開催地の本島だけではなく、丸亀駅や商店街、丸亀城など陸地部を含んだ広域で周遊いただける仕掛けに取り組み、芸術祭を盛大に開催していただきたい。</p> <p>以上のことから、本事業は「維持」とする。</p>

### 【担当課の対応】

<p>非開催年度における取組として、本市のほか定住自立圏域の小中学生とその保護者を対象としたバスツアーを継続し、本島での瀬戸内国際芸術祭の既存屋外作品や日本遺産の見学に加え、猪熊弦一郎現代美術館や中津万象園など本土側の文化施設を巡るコースとすることで、文化芸術への関心を高め、芸術祭を盛り上げるための機運醸成に努めたい。</p> <p>また、芸術祭のお土産となる商品開発を丸亀市観光協会と連携して取り組み、会期中の商品展開や販売促進に連動させることはもとより、会期外における継続的な活用にもつなげていきたい。</p>
--

### 【予算の状況】

予算事業名称	区分	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
瀬戸内国際芸術祭事業費	令和6年度 (A)	21,925	2,000	0	0	19,925
	令和5年度 (B)	4,062	2,000	0	0	2,062
	比較 (A-B)	17,863	0	0	0	17,863